

## 第 2 学年 社会科学学習指導案

1 単元名 世界から見た日本の自然環境

2 教科研究主題との関連

本校社会科部会の研究主題は「多角的なものの見方・考え方のできる生徒の育成」であり、学習課題について世界の他地域との比較や、日本の地域ごとの違いなどに着目しながら、諸地域の特色を理解できる生徒の育成を目指している。

本単元では、地形・気候・自然災害などについての日本の特徴を、既習事項である世界の学習と比較をさせながら理解させるものである。授業では、資料の読み取り能力を高めるとともに、話し合い活動を通して、日本の自然環境をいろいろな視点から捉え、考えさせていきたい。

3 本時の指導

(1) 目標 日本の気候の特色を理解し、地域ごとの違いをまとめることができる。

(社会的な思考・判断・表現)

(2) 展開 (本時 4 / 6)

時配 形態	学習活動と内容 (○ 表現する力を育成する取り組み)	支援及び指導上の留意点 ◎評価(規準：方法)
8分 一斉	1 地中海性気候と西岸海洋性気候について、特徴を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地中海性気候については、温帯学習でのイタリアを、西岸海洋性気候については、ヨーロッパの学習を想起させる。</li> </ul>
2分 一斉	2 学習課題を確認する。	
日本には、どのような気候の特徴があるのだろうか		
10分 一斉	3 日本特有の気象現象とその影響について考え、発表する。 (現象)・台風 ・梅雨 ・季節風 (影響)・雨が多い ・湿度が高い ・蒸し暑い ・雪が多い ・水害が起こる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に大きな影響を与える気象現象から考えるよう、助言する。</li> <li>・季節ごとの特徴も考えることを助言する。</li> </ul>
20分 グループ	④ 地域ごとの気候の特徴を話し合い、発表する。 ・北海道は寒い ・北日本は雪が多い ・九州や沖縄は暑い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ごとの特徴的な気候を表す写真を提示することで、降水量の季節差や、季節風と地形の影響などについて気づかせる。</li> <li>・雨温図を提示することで、日本の気候は大きく6つに分けられることを助言する。</li> </ul>
10分 一斉	5 本時のまとめを行う。 ・北海道の気候 ・太平洋側の気候 ・日本海側の気候 ・中央高地の気候 ・瀬戸内の気候 ・南西諸島の気候	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎6つの地域ごとに雨温図から特徴をつかみ、ノートにまとめることができたか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(思・判・表：ノート・発表)</p>